







カテゴリー	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																				
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
																									
18		【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	2011年エコアクション21を取得し、活発な活動を続けている。環境関連の賞を多数受賞。			3.9			6	7							12	13.3	14	15				
19		【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	年間の環境活動レポートはもとより、月単位での活動情報を全社員に開示して意識付けを行っている。														12.6							
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	再生エネルギー使用は現在は取り組んでいないが、今後の計画の中には取り込んでいる。							7.2									13					
21		【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	事務用品の購入についてはグリーン購入100%を達成している。また、事務用品以外にも広げる計画を立て実施している。														12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・ 汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	汚職・贈収賄防止についての社員教育を行っている。																				16	16.5
23		【公正な競争】 ・ 不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	不正行為防止に関する社員教育を行っている。																					16
24		【知的財産保護】 ・ 知的財産の保護に取り組んでいる	基本	取引にあたっては契約書の条項または秘密保持契約を結び知的財産の保護に努めている。									8.2	9											
25		【個人情報保護】 ・ 個人情報を適切に管理している	基本	個人情報を適切に保護している。																					16
26		【紛争鉱物】 ・ 紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	自社製品の原材料サプライチェーンを把握している。																					16
27		【サプライチェーン管理】 ・ サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	サプライヤーとの対話を通じた人権侵害等防止の取組を確認している。					5				8		10		12	13	14	15	16	17			
28		【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品に関わるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9										12.4								
29	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	ISO9001を導入し、品質管理の仕組みを導入している。またパートを含む全従業員にQC検定資格取得を義務化し、品質に関わる個人資質の向上に努めている。																	9					
30	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	エコアクション21の活動を通じて電力、エネルギー削減に努め、環境に配慮した経営を行っている。							6						12	13	14	15						
31	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	諏訪地域の13社と連携し、夫々の得意な技術を持ち寄り、災害時に公共の役に立つ簡易トイレの開発を行った。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																						
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
																											
32		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地元の小学校の見学や、高校や養護学校からのインターンの依頼に快く応じる事で子供たちの働く事への関心を高める手助けを行っている。				4								9		11	12			14	15			17	
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	全社的に5S活動を行い、社内だけでなく敷地外の道路や川の清掃に積極的に取り組んでいる。				4											11					14	15		17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	自社の発展のみを追求するのではなく、諏訪地域の他の中小企業との連携を深め、地域全体の活性化を考える様になっている。													8	9		11	12	13					
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内でも共有している	基本	目標管理制度を導入し、TOPの理念と目標が社員個々の目標にブレークダウンされる仕組みを構築・実施し、有効に機能している。													8	9									17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	毎月1回の定期全体研修の場でコンプライアンスに関するテーマも取り上げることで法令順守の意識徹底を図っている。																							16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	責任者(社長)、担当部門(総務)を決め体制を整えている。																							16
38		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	基本	自社のステークホルダーに与える影響を把握し、適切に対応している。																						16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	ISO9001の規定に「リスクマネジメント実施基準」があり、基準を順守しながら管理を行っている。																							16
40		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	CSRの考えに基づき企業理念・方針・目標を設定し、社会的責任を果たすべく活動を行っている。																							16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	【予定】BCP計画を作成する														9		11		13	13.1			16	
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	若手社員に対して積極的な経営教育を行い、将来の経営者作りを計画的に行っている。													8	9									17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
当社は近隣に公共施設や大企業がないため、AEDが必要な時にすぐに見つからない恐れがあった。	AEDを購入・設置し、外部から見やすい様に表示して近隣の誰もが使える様にした。			3								11						
諏訪東京理科大との産学連携を行い、地域住民（子供見回りの安全性）や山岳登山者の安全を高めるための地域ブランド製品の開発を地域中小企業と一緒に取り組んでいる。	地域の安全向上のための新製品開発への取組			3						9	11							17

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）